

部 局 名	企画総務部
部 局 長 名	山元 真二郎
部の運営方針	<ul style="list-style-type: none"> ・第四次総合計画第 1 期実施計画を着実に推進するため、実施計画に位置づけた事業を適切に進行管理していきます。さらに、第 2 期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に位置づける施策や事業の着実な推進など人口減少対策に取り組みます。 ・行政評価制度を活用し、事業の適切な進行管理を行うとともに、行政改革の取り組みとも連動しながら事業の改善に引き続き努めます ・「湖北台地区公共施設の整備方針」に基づき、引き続き事業の進行管理をしていきます。 ・新たな文化交流拠点施設については、関係課と情報共有するとともに、施設の交流支援機能について情報収集していきます。 ・成田線の増発や常磐線特別快速列車の我孫子駅への停車など、鉄道の利便性の向上に取り組みます。また、成田線の活性化に向けた取り組みについては、沿線自治体 7 市町と J R 東日本と連携しながら進めていきます。 ・市民サービスの向上や効率的・効果的な行財政運営を図るため、近隣市町等と連携しながら、公共施設の相互利用や事務の共同処理の拡大など広域行政を一層進めます。なお、東葛中部地区総合開発事務組合については、我孫子市より職員 1 名を派遣するとともに、今後の運営手法について検討していきます。また、手賀沼・手賀川を活かして交流人口の拡大を図る取り組みを、引き続き進めていきます。 ・連携協定を結んでいる大学や企業と連携し、相互連携の取り組みを充実していきます。 ・平和事業を市民の協力と参加のもとに実施し、平和の大切さについて市民とともに考えます。 ・国際交流・多文化共生を推進するため、国際交流協会（A I R A）と連携し、在住外国人が安心して生活できるよう引き続き支援していきます。 ・行政施策の情報を広報あびこやホームページだけでなく、新聞、テレビ、ラジオ、インターネット等のさまざまな媒体を積極的に活用し、迅速かつ的確に提供していきます。 ・市民ニーズを市政への手紙やメール、e モニター、市政ふれあい懇談会などを通じて把握し、関係部局等との調整を図りながら市政に反映していきます。 ・若い世代の移住・定住化の促進や交流人口の増加を図るため、あびこの魅力を広く市内外に繰り返し、効果的に発信します。 ・平成 3 1 年度にスタートした「第三次男女共同参画プラン」に基づき、男女共同参画の趣旨が一層理解されるよう事業を進めます。 ・情報公開制度に対応する文書管理として、ファイリングシステムにおける維持管理を徹底し、行政情報資料室等において市政に関する情報を適切に公開します。 ・個人情報保護法制の一元化に伴い、制度の研究及び見直しを進め、市民に新たな制度の周知を行います。 ・多様な採用方法や募集方法を検討し、優れた人材の確保に努めるとともに、職員研修の実施、人事評価や多面評価の活用、職員派遣や人事交流の実施により、人材育成を図ります。さらに第四次総合計画を効果的に推進することや社会情勢や行政課題に的確に対応できるよう、引き続き職制や組織体制を見直し、柔軟で機能的な組織としていきます。 ・働き方改革や新たな生活様式に対応するため多様な勤務体制を検討し、在宅勤務などテレワークの継続・定着を図ります。 ・事務処理誤りの発生を防止するため、作成した対応策（リスク評価及びリスク対応策）を実施するとともに、対応策に対する評価を行い、職員一人一人のリスクマネジメントの取り組みを推進します。 ・行政や市民、N P O、企業などの多様な主体が、市民ニーズに適合した質の高いサービスを提供していけるよう、多様な手法を検討・活用し、事業の民営化や委託化を進めます。 ・事業の必要性や実施主体のあり方などについて、市民の視点を取り入れ、根本から事務事業の見直しを行うとともに、D X 推進や B P R の手法を活用するなど業務効率化を進めます。 ・行政手続きのオンライン化やキャッシュレス・A I ・R P A の利用推進、自治体の情報システムの標準化など D X（デジタルトランスフォーメーション）を推進します。 ・全庁的な D X に対する基礎的な共通理解の形成、実践意識の醸成を図り、D X 推進体制の整備に取り組みます。 ・「マイナンバーカード交付円滑化計画」に基づき、マイナンバーカードの交付円滑化や用途拡大に取り組みます。

部 局 名	企画総務部
部 局 長 名	山元 真二郎
部の運営方針 に対する総合 評価	<ul style="list-style-type: none"> ■第四次総合計画第1期実施計画に位置づけた事業及び第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に位置づけた施策や事業の進行管理を概ね適正に行いました。 ■行政評価制度を活用し、行政改革の取り組みと連動させながら事業の改善を図りました。 ■鉄道の利便性向上では、成田線の増発や常磐線特別快速列車の我孫子駅への停車などについてJR東日本に対し要請を行いました。また、成田線沿線の活性化に向け、沿線自治体7市町で構成する「成田線活性化推進協議会」において、各市町の魅力を市内外に発信しました。 ■手賀沼・手賀川を活かした交流人口の拡大を図る取り組みでは、千葉県と連携し地域づくり推進事業に着手しました。 ■平和の大切さを市民とともに考えるため、市民の協力と参加のもと「平和の集い」や「リレー講座」などを実施したほか、中学生派遣事業では、新型コロナウイルス感染症に配慮しながら、広島市への派遣を行いました。 ■市政への手紙やメール、eモニター、市政ふれあい懇談会などを通じ、直接市民の声を聴いてニーズを把握し、関係部局等と調整を図りながら行政運営に反映させました。 ■広報あびこやホームページをはじめ、SNS、新聞、テレビなど様々な媒体を積極的に活用して、積極的に市の魅力を発信することができました。また、新たにふるさと大使による広報動画の配信を通じて市政情報の発信を開始したほか、公式LINEを開設し、市民自身が欲しい情報を選択できるようにすることで、情報取得の利便性を高めました。 ■あびこの魅力を、ラジオCMや住み替え情報紙など制作して繰り返し、積極的に市内外に発信することにより、市内への移住・定住の促進につなげました。 ■「第三次男女共同参画プラン」に基づき、男女共同参画社会の実現を目指して、事業の推進に努めました。 ■令和4年度末で期間が満了する「我孫子市教育大綱」について、総合教育会議の場で教育委員会との合意形成を図り、令和5年度から令和8年度を期間とする大綱を定めました。 ■人事評価制度を中心とする人事管理を行うとともに各種研修や国や県との人事交流を通じ人材育成に努めました。また、ワーク・ライフ・バランスなどを実現するため、時間外勤務の削減などの働き方改革や在宅勤務などを推進しました。 ■市民と市の情報共有の推進については、広報あびこやホームページなどを通じた行政施策の情報提供、情報公開制度による市政情報の提供に努めました。 ■行政改革推進プランに沿って、各事務事業の見直しや行政改革推進委員会による進行管理を開始するなど、事業の見直し検討を進めました。 ■第四次総合計画を効果的に推進するため、環境経済部の再編やデジタル戦略室を設置するなど、令和5年度の組織体制を構築しました。 ■DXの推進では、キャッシュレス決済の導入などによる業務効率化に取り組むとともに、セキュリティの強化に努めました。

令和4年度 課の目標管理書

課名：企画総務部 企画政策課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

・第四次総合計画第1期実施計画を着実に推進するため、実施計画に位置づけた事業を適切に進行管理していきます。さらに、第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に位置づける施策や事業の着実な推進など人口減少対策に取り組みます。

・行政評価制度を活用し、事業の適切な進行管理を行うとともに、行政改革の取り組みとも連動しながら事業の改善に引き続き努めます。

・「湖北台地区公共施設の整備方針」に基づき、引き続き事業の進行管理をしていくとともに、第2期整備方針に向けた検討を進めます。

・新たな文化交流拠点施設については、関係課と情報共有するとともに、施設の交流支援機能について情報収集していきます。

・成田線の増発や常磐線市内各駅へのホームドアの整備など、鉄道の利便性の向上に取り組みます。また、成田線の活性化に向けた取り組みについては、沿線自治体7市町とJR東日本と連携しながら進めていきます。

・市民サービスの向上や効率的・効果的な行財政運営を図るため、近隣市町等と連携しながら、公共施設の相互利用や事務の共同処理の拡大など広域行政を一層進めます。なお、東葛中部地区総合開発事務組合については、我孫子市より職員1名を派遣するとともに、今後の運営手法について検討していきます。また、手賀沼・手賀川を活かして交流人口の拡大を図る取り組みを、引き続き進めていきます。

・協定を締結している大学や企業と連携し、相互連携の取り組みを充実していきます。

・平和事業を市民の協力と参加のもとに実施し、平和の大切さについて市民とともに考えます。

・国際交流・多文化共生を推進するため、国際交流協会（AIRA）と連携し、在住外国人が安心して生活できるよう引き続き支援していきます。

・第5次行政改革推進プランを策定し、行政改革推進委員会での意見を踏まえながら、民間活力の導入やBPRなどの活用を検討し、行政の効率化を進めます。

・国の示す「デジタル社会の実現に向けた重点計画」「自治体DX推進計画」並びに「自治体DX推進手順書」を基に、重点取組事項を中心としたデジタルガバメントの推進に努めます。

・マイナンバーカードの申請補助や広報等によりマイナンバーカードの普及促進に努めると共に、行政手続きのオンライン化やコンビニ交付等のマイナンバーカードを活用した施策を推進し、市民サービスの向上に努めます。

・各課にデジタル化推進担当者を選任すると共にBPRやDXに関する研修等を実施し、全庁的なDXに対する共通理解の形成と人材育成を推進します。

2. 課の目標への取組結果

第四次総合計画の推進、第5次行政改革プランの策定、広域行政の推進、デジタル施策の推進等、課の目標に掲げた取組について滞りなく実施できました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の結果を踏まえた評価）

課長	部長
令和4年度の組織改正により新たに所管することとなった行政改革業務やデジタル施策の推進を含め、順調に実施できていると評価します。	所管する全事務事業における指標の進捗状況は概ね順調に推移しており、効率的・効果的に事業を実施できていると評価します。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

課の施策の方向性に基本的に変更はありませんが、デジタル施策の推進については、課内室の体制を整え更なる強化を図ります。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	地域資源を活かした都市ブランド化	
	担当部署名	企画総務部 企画政策課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	4-5 交流・関係人口の拡大	
	施策の展開内容	交流・関係人口の拡大を図るため、市内外の人に、本市に魅力を感じ愛着を持ってもらえるよう、市民活動団体や事業者などと連携して、手賀沼周辺環境をはじめ、自然、鳥、文化、芸術など近隣地域にはない我孫子ならではの地域資源の活用と磨き上げを行います。	
事務事業の目的・概要	<ul style="list-style-type: none"> 千葉県、柏市、印西市と連携して水面を含めた手賀沼・手賀川周辺の観光資源を活用するとともに、常磐線・成田線沿線の自治体や大学などと連携して広域で地域資源を活用することで魅力向上を図ります。 我孫子駅と手賀沼公園を結ぶ公園坂通りが、まちのにぎわいを生むシンボルロードとなるよう検討を進めます。 五本松公園周辺地域の魅力向上を図るため、公園とふれあいキャンプ場など周辺施設との一体的な活用について検討していきます。 		
関連する市の計画等			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	指	手賀沼・手賀川の活用	
		JOBANアートライン協議会事業の実施	
		成田線沿線活性化事業の推進	
		公園坂通り活性化検討	
		五本松公園周辺地域の魅力向上に関する検討	
		柏レイソルホームタウン事業の運営・調整	
		常磐線沿線4市地域活性化事業の実施	
		柏版図柄入りナンバープレートの普及	
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費と財源内訳（Plan&Do）

（千円）

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)				総事業費 (a+b)	財源内訳				
			正職員	(人)	会計年度任用職員	(人)		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
令和2年度	決算額	905	10,257	0.77	0	0.00	11,163	0	0	0	0	11,163
令和3年度	決算見込額	738	9,212	0.62	0	0.00	9,949	0	0	0	0	9,949
令和4年度	当初予算額	559	5,643	0.65	0	0.00	6,202	0	0	0	0	6,202
	補正後予算額	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	決算額	521	5,643	0.65	0	0.00	6,164	0	0	0	0	6,164

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度	
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
活動 指標	成田線沿線活性化イベントの実施数	件		目標値	4	4	4	4	
				実績値	6	4			
成果 指標	柏版図柄入りナンバープレート申込数（寄付あり）	件		目標値	4500	5500	6500	9500	
				実績値	3596	4840			
指標				目標値					
				実績値					
					目標値				
					実績値				
					目標値				
					実績値				
					目標値				
					実績値				

4. 事業に対する評価（Check）

評価目標	評価値	備考（評価結果へのコメント等）
活動に対する評価	順調	予定していたイベントや会議等を行うことができ、我孫子市及び各事業の構成自治体の魅力をPRすることができました。
成果に対する評価	順調	手賀沼・手賀川活用推進協議会では、千葉県が主体となって実施している“地域づくり事業”を活用し、手賀沼・手賀川周辺において農を軸とした新たな事業の検討を進めることができました。
総合的な評価	順調	各事業における構成市等と新たな取り組みや、イベント等を開催することができ、各自治体の魅力をPRすることや、意見交換を行うことができました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	引き続き、市の魅力をPRしていくため、各構成市等と協力し事業を推進していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	鉄道の輸送力と利便性向上
	担当部署名	企画総務部 企画政策課
基本計画における 位置づけ	基本施策名	5-3 公共交通の利便性向上
	施策の展開内容	誰もが安全に安心して快適に地域で暮らせるよう、鉄道やバス、タクシーなどの利便性向上とバリアフリー化を進めています。
事務事業の目的・概要	・市民が快適に鉄道を利用し、沿線地域が活性化されるよう、沿線自治体などと連携し、重要な公共交通機関であるJR常磐線やJR成田線の輸送力の強化と利便性の向上を図ります。	
関連する市の計画等		
当該年度 実施事業 (Plan) 指：指定事務事業	指 常磐線・成田線の利便性向上	
	成田空港活用協議会への参画	
継続費設定事業		
債務負担行為設定事業		

2. 事業費と財源内訳 (Plan&Do)

(千円)

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)				総事業費 (a+b)	財源内訳				
			正職員	(人)	会計年度任用職員	(人)		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
令和2年度	決算額	240	2,027	0.23	501	0.20	2,768	0	0	0	0	2,768
令和3年度	決算見込額	245	2,074	0.23	0	0.00	2,319	0	0	0	0	2,319
令和4年度	当初予算額	952	6,640	0.80	0	0.00	7,592	0	0	0	0	7,592
	補正後予算額	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	決算額	781	6,640	0.80	0	0.00	7,421	0	0	0	0	7,421

3. 指標及び実績値 (Plan&Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度	
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
指標	活動指標	JR東日本への要望活動実施数	回	目標値	4	4	4	4	
				実績値	4	4			
					目標値				
					実績値				
					目標値				
					実績値				
					目標値				
					実績値				
					目標値				
					実績値				
					目標値				
					実績値				
					目標値				
					実績値				

4. 事業に対する評価 (Check)

評価目標	評価値	備考 (評価結果へのコメント等)
活動に対する評価	順調	鉄道や駅の利便性向上に向けて、JR首都圏本部、千葉支社に行う要望活動について、予定通り行うことができました。
成果に対する評価	ほぼ順調	首都圏内で運行間隔の調整など輸送体系の見直しが行われる中、成田線（我孫子～成田間）においては現行の本数が確保されました。
総合的な評価	順調	成田線（我孫子～成田間）においては、運行本数が維持され、上野行の列車が品川行に延伸されるなど、利便性の向上が図られました。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	引き続き、鉄道や駅の利便性の向上に向けて、要望活動に取り組んでいきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	平和事業の実施
	担当部署名	企画総務部 企画政策課
基本計画における 位置づけ	基本施策名	8-3 平和社会の推進
	施策の展開内容	「我孫子市平和都市宣言」の趣旨を踏まえ、世界の恒久平和と核兵器の廃絶を願い、戦争の悲惨さと平和の尊さを後世に伝えるため、市民とともに平和事業に取り組みます。
事務事業の目的・概要	・「我孫子市平和都市宣言」の趣旨を踏まえ、世界の恒久平和と核兵器の廃絶を願い、戦争の悲惨さと平和の尊さを後世に伝えるため、被爆地である広島・長崎へ中学生を派遣します。 ・派遣中学生OB・OGによるリレー講座を継続するほか、若い世代が参加しやすく、平和について考えるきっかけとなるよう工夫しながら、市民とともに平和事業に取り組みます。	
関連する市の計画等		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	指 被爆地への中学生派遣、リレー講座	
	平和事業推進市民会議の運営	
継続費設定事業		
債務負担行為設定事業		

2. 事業費と財源内訳（Plan&Do）

(千円)

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)				総事業費 (a+b)	財源内訳				
			正職員	(人)	会計年度任用職員	(人)		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
令和2年度	決算額	1,519	2,436	0.28	0	0.00	3,955	0	0	0	0	3,955
令和3年度	決算見込額	1,370	3,382	0.38	0	0.00	4,752	0	0	0	0	4,752
令和4年度	当初予算額	1,566	5,643	0.65	0	0.00	7,209	0	0	0	0	7,209
	補正後予算額	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	決算額	1,439	5,643	0.65	0	0.00	7,082	0	0	0	0	7,082

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
活動 指標	平和事業推進市民会議の開催数	回		5	5	5	5	5
				5	5			
活動 指標	広島・長崎派遣中学生リレー講座の実施回数	回		13	13	13	13	13
				6	13			
指標				目標値				
				実績値				
				目標値				
				実績値				
				目標値				
				実績値				
				目標値				
				実績値				

4. 事業に対する評価（Check）

評価目標	評価値	備考（評価結果へのコメント等）
活動に対する評価	順調	予定していたとおり会議を開催することができ、リレー講座では市内小学校全校で開催することができました。また、リレー講座の講師・アシスタントを担う者を増やすために勉強会や交流会を行いました。
成果に対する評価	順調	派遣を経験した中学生が、積極的にリレー講座のアシスタントや講師を担い、平和の尊さを伝える輪が広がってきています。
総合的な評価	順調	平和の尊さを伝える事が絶えぬよう、リレー講座の講師・アシスタントを担う者が増加するために勉強会や交流会を開催しました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	引き続き、戦争の恐ろしさや平和の尊さを若い世代へ受け継ぐよう事業を推進していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	国際交流活動への支援
	担当部署名	企画総務部 企画政策課
基本計画における 位置づけ	基本施策名	8-4 国際交流・多文化共生の推進
	施策の展開内容	在住外国人と市民との国際交流を進め、国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的な違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていく多文化共生社会の実現を図ります。
事務事業の目的・概要	・我孫子市国際交流協会をはじめとする関係団体などと連携して、市民と在住外国人が互いに理解・交流を深める機会の提供や情報発信に取り組みます。 ・多言語による行政情報の提供や相談支援などを推進し、在住外国人が安心して暮らせる環境の整備を図ります。	
関連する市の計画等		
当該年度 実施事業 (Plan) 指：指定事務事業	在住外国人の支援	
	国際交流・国際理解の推進	
継続費設定事業		
債務負担行為設定事業		

2. 事業費と財源内訳 (Plan & Do)

(千円)

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)				総事業費 (a+b)	財源内訳				
			正職員	(人)	会計年度任用職員	(人)		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
令和2年度	決算額	2,219	1,827	0.21	0	0.00	4,046	0	0	0	0	4,046
令和3年度	決算見込額	2,280	2,759	0.31	0	0.00	5,039	0	0	0	0	5,039
令和4年度	当初予算額	2,288	7,213	0.85	0	0.00	9,501	0	0	0	0	9,501
	補正後予算額	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	決算額	2,227	7,213	0.85	0	0.00	9,440	0	0	0	0	9,440

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
活動 指標	国際交流イベントの共催数	事業	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	1	2			
活動 指標	外国人のための日本語教室開催数	回	目標値	70	70	70	70	70
			実績値	70	70			
指標			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

4. 事業に対する評価 (Check)

評価目標	評価値	備考 (評価結果へのコメント等)
活動に対する評価	順調	我孫子市国際交流協会と協力して、国際交流スピーチ大会や国際交流まつりを開催し、在住外国人と市民との交流の場を設けることができました。
成果に対する評価	ほぼ順調	我孫子国際交流まつりでは、コロナ禍における開催であったため入場者数は伸びなかったが、今後は増加していくと思われます。
総合的な評価	順調	国際交流まつりでは、新たにスロベニア共和国やキプロス共和国がブースを出展し、前年以上に国際色豊かなイベントとなり、国際交流の輪が広がりました。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	引き続き、多文化共生社会の実現のため我孫子市国際交流協会と協力し事業を推進していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	総合計画及びまち・ひと・しごと総合戦略の策定と進行管理
	担当部署名	企画総務部 企画政策課
基本計画における 位置づけ	基本施策名	効率的・効果的な行政運営の推進
	施策の展開内容	多様化する市民ニーズや社会情勢の変化を的確に捉え、財源の確保と効率的かつ効果的な事業の実施に努め、持続可能な行政運営を進めます。
事務事業の目的・概要	・総合計画及びまち・ひと・しごと創生総合戦略を着実に推進するため、PDCAサイクルに基づき計画の進捗状況を確認し、継続的な見直しを行っています。 ・計画年度の終了に合わせ、市民ニーズやこれまでの計画の進捗状況による評価などに基づき、次期計画の策定を行います。	
関連する市の計画等		
当該年度 実施事業 (Plan) 指：指定事務事業	指 第四次総合計画の進行管理	
	まち・ひと・しごと創生総合戦略の進行管理と有識者による評価	
継続費設定事業		
債務負担行為設定事業		

2. 事業費と財源内訳 (Plan&Do)

(千円)

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)				総事業費 (a+b)	財源内訳				
			正職員	(人)	会計年度任用職員	(人)		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
令和2年度	決算額	304	24,708	2.84	616	0.44	25,628	0	0	0	0	25,628
令和3年度	決算見込額	2,736	20,470	2.30	694	0.58	23,900	0	0	0	0	23,900
令和4年度	当初予算額	64	9,568	1.15	463	0.18	10,095	0	0	0	0	10,095
	補正後予算額	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	決算額	42	9,568	1.15	397	0.14	10,007	0	0	0	0	10,007

3. 指標及び実績値 (Plan&Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
活動 指標	まち・ひと・しごと創生有識者会議の実施回数	回		4	4	4	4	4
				3	3			
成果 指標	まち・ひと・しごと創生有識者会議で「順調」「ほぼ順調」と評価された施策の割合	%		100	100	100	100	100
				77	85			
成果 指標	全事務事業の「総合的な評価」が「順調」「ほぼ順調」となった割合	%			90%以上	90%以上	90%以上	90%以上
				-	98.4			
指標				目標値				
				実績値				
				目標値				
				実績値				

4. 事業に対する評価 (Check)

評価目標	評価値	備考(評価結果へのコメント等)
活動に対する評価	順調	まち・ひと・しごと創生有識者会議の実施回数は3回であったが、施策評価を十分に実施できているため、順調と評価できます。
成果に対する評価	ほぼ順調	全事務事業の総合的な評価において、「順調」「ほぼ順調」の割合が目標値より高かったことから、ほぼ順調と評価できます。
総合的な評価	ほぼ順調	まち・ひと・しごと創生有識者会議においても、大きな問題なく評価され、事務事業評価において「順調」「ほぼ順調」以外の内容も各課題が整理されているため、ほぼ順調と評価できます。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	令和4年度からスタートした第四次総合計画及び第二期まち・ひと・しごと創生総合戦略を適切に進行管理し、着実に推進していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	庁内総合調整と行政の見える化		
	担当部署名	企画総務部 企画政策課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	効率的・効果的な行政運営の推進		
	施策の展開内容	多様化する市民ニーズや社会情勢の変化を的確に捉え、財源の確保と効率的かつ効果的な事業の実施に努め、持続可能な行政運営を進めます。		
事務事業の目的・概要	<ul style="list-style-type: none"> ・市が行う政策や事業について、定期的に内容や行政評価の結果を市民にわかりやすく伝えます。 ・複数の部門が関わる事業について、効率的・効果的に実施できるよう、方法や役割などについての調整を行います。 			
関連する市の計画等				
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	施政方針・市政一般報告等の作成			
	市議会答弁検討会の運営及び答弁書の調整、答弁内容の進行管理			
	庁議の調整及び運営			
	行政評価結果の公表			
	政策的事業の実施に関する調整			
	部門横断事業に関する調整			
	活力ある地域づくり推進会議の運営			
	高野山新田地区活性化事業に関する調整			
湖北台地区公共施設整備（第2期整備）の検討				
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費と財源内訳（Plan&Do）

(千円)

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)				総事業費 (a+b)	財源内訳				
			正職員	(人)	会計年度任用職員	(人)		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
令和2年度	決算額	3,085	24,012	2.76	1,001	0.40	28,098	0	0	0	0	28,098
令和3年度	決算見込額	2,631	25,988	2.92	1,023	0.40	29,642	0	0	0	0	29,642
令和4年度	当初予算額	182	13,640	1.60	323	0.10	14,145	0	0	0	0	14,145
	補正後予算額	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	決算額	182	13,640	1.60	323	0.10	14,145	0	0	0	0	14,145

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度	
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
活動 指標	答弁検討会における調整率	%		目標値	100	100	100	100	
				実績値	100	100			
活動 指標	施政方針・市政一般報告の調整率	%		目標値	100	100	100	100	
				実績値	100	100			
指標				目標値					
				実績値					
					目標値				
					実績値				
					目標値				
					実績値				
					目標値				
					実績値				

4. 事業に対する評価（Check）

評価目標	評価値	備考（評価結果へのコメント等）
活動に対する評価	ほぼ順調	事務のデジタル化、ペーパーレス化を推進しながら事業を実施しました。活力ある地域づくり推進会議を開催し、政策的・部門横断事業の総合調整を実施しました。
成果に対する評価	ほぼ順調	令和4年度から実施方法を大幅に見直した行政評価をはじめ、各事務を効率的かつ効果的に実施できました。
総合的な評価	ほぼ順調	各内部事務を適切に実施するとともに、政策的・部門横断事業の総合調整を行うことができました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	引き続き、事務の効率化を図りながら、内部事務及び政策的事業等の総合調整を実施していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	広域行政の推進	
	担当部署名	企画総務部 企画政策課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	効率的・効果的な行政運営の推進	
	施策の展開内容	多様化する市民ニーズや社会情勢の変化を的確に捉え、財源の確保と効率的かつ効果的な事業の実施に努め、持続可能な行政運営を進めます。	
事務事業の目的・概要	近隣や共通課題を有する自治体、民間事業者、大学などと連携し、スケールメリットやそれぞれの強みを活かした行政運営の推進を図ります。		
関連する市の計画等			
当該年度 実施事業 (Plan) 指：指定事務事業	近隣市等とのまちづくり連絡協議会の運営事業		
	大学・企業等との連携事業		
	東葛中部地区総合開発事務組合の運営		
	東葛広域行政連絡協議会による連携事業		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費と財源内訳 (Plan&Do)

(千円)

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)				総事業費 (a+b)	財源内訳				
			正職員	(人工)	会計年度任用職員	(人工)		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
令和2年度	決算額	117,571	5,551	0.64	751	0.30	123,873	0	0	0	0	123,873
令和3年度	決算見込額	124,797	5,892	0.66	767	0.30	131,456	0	0	0	0	131,456
令和4年度	当初予算額	103,122	5,643	0.65	970	0.30	109,734	0	0	0	0	109,734
	補正後予算額	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	決算額	103,065	5,643	0.65	970	0.30	109,678	0	0	0	0	109,678

3. 指標及び実績値 (Plan&Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
活動 指標	相互利用している公共施設の数	件		11	11	11	11	11
				11	11			
活動 指標	協定を結んでいる大学・企業及び新たな連携を希望する大学・企業との調整会議実施回数	回		9	12	13	13	15
				12	17			
成果 指標	企業と締結している協定書に記載されている項目の実施率 (実施項目/記載項目)	%		-	65	70	75	90
				62	53			
指標				目標値				
				実績値				
				目標値				
				実績値				
				目標値				
				実績値				
				目標値				
				実績値				

4. 事業に対する評価 (Check)

評価目標	評価値	備考 (評価結果へのコメント等)
活動に対する評価	順調	公共施設の相互利用や、ウイングホールの運営等について他市と協力し取り組むことができました。包括連携協定において各企業、大学と協力の事業に取り組むことができました。
成果に対する評価	ほぼ順調	包括連携において、コロナ禍という事もあり実施できない事業もありましたが、今後は実施できる事業が増えていくと見込んでいます。
総合的な評価	順調	広域的に連携協力することで、1市では解決できない事業や、市民サービスの向上といった事項に取り組むことができました。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	引き続き、広域的な連携により、1市では解決できない事柄について取り組んでいきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	行政改革・業務改善の推進	
	担当部署名	企画総務部 企画政策課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	効率的・効果的な行政運営の推進	
	施策の展開内容	多様化する市民ニーズや社会情勢の変化を的確に捉え、財源の確保と効率的かつ効果的な事業の実施に努め、持続可能な行政運営を進めます。	
事務事業の目的・概要	市民の視点を取り入れた事業自体の見直し、BPRの手法を活用した業務の効率化、PPP/PFIなどの官民連携手法を通じた民間の創意工夫の取入れなどを進め、行政改革を推進します。		
関連する市の計画等	行政改革推進プラン		
当該年度 実施事業 (Plan) 指：指定事務事業	行政改革推進プランの推進		
	職員提案事業		
	指 提案型公共サービス民営化制度の見直し		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費と財源内訳 (Plan & Do)

(千円)

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)				総事業費 (a+b)	財源内訳				
			正職員	(人)	会計年度任用職員	(人)		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
令和2年度	決算額	12	15,660	1.80	0	0.00	15,672	0	0	0	0	15,672
令和3年度	決算見込額	163	8,900	1.00	0	0.00	9,063	0	0	0	0	9,063
令和4年度	当初予算額	1,676	16,780	2.00	322	0.19	18,778	1,626	0	0	0	17,152
	補正後予算額	1,550	16,780	2.00	322	0.19	18,652	1,499	0	0	0	17,153
	決算額	1,500	16,780	2.00	25	0.03	18,305	1,499	0	0	0	16,806

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
活動指標	行政改革推進委員会による行政改革推進推進プランの進行管理実施回数	回	目標値	2	1	1	2	2
			実績値	2	1			
活動指標	民間提案制度策定進捗率	%	目標値	50	100	100	100	100
			実績値	50	80			
活動指標	民間提案制度募集事業数	件	目標値			1	3	3
			実績値					
成果指標	民間提案制度採用事業数	件	目標値			1	3	3
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

4. 事業に対する評価 (Check)

評価目標	評価値	備考 (評価結果へのコメント等)
活動に対する評価	ほぼ順調	年度当初に第5次行政改革推進プランを策定し、進行管理を順調に進められています。
成果に対する評価	ほぼ順調	民間提案制度が休止中のため、提案採用の成果はありませんが、再開に向けた制度見直しを概ね順調に進めています。
総合的な評価	ほぼ順調	令和4年度の組織改正により、当事務事業の所管が行政管理課から企画政策課となったことで、総合戦略等と連携して事業を推進できていると考えます。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	引き続き第5次行政改革プランの進行管理を適切に行うとともに、民間提案制度の再開に向けた制度改正を進めます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	電子行政の推進
	担当部署名	企画総務部 企画政策課
基本計画における 位置づけ	基本施策名	効率的・効果的な行政運営の推進
	施策の展開内容	多様化する市民ニーズや社会情勢の変化を的確に捉え、財源の確保と効率的かつ効果的な事業の実施に努め、持続可能な行政運営を進めます。
事務事業の目的・概要		
<ul style="list-style-type: none"> 革新的な技術を活用した取組について調査・研究を進め、市民サービスの充実や業務の効率化、情報セキュリティの強化を図ります。 マイナンバー制度の更なる普及、DXの推進など、デジタル時代に対応した地域社会の実現を目指します。 組織としてデジタル・ガバメントを推進するためにデジタル人材の確保・育成に取り組みます。 		
関連する市の計画等		
当該年度 実施事業 (Plan) 指：指定事務事業	デジタルガバメントの推進	
	ITリーダーの育成	
	指 B P Rの実施	
	指 アンケート分析システムの導入	
	行政手続の電子化推進	
	eLTAXによる納税通知	
	窓口等におけるキャッシュレス導入	
	庁内チャットツールの導入	
継続費設定事業		
債務負担行為設定事業		

2. 事業費と財源内訳 (Plan&Do)

(千円)

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)				総事業費 (a+b)	財源内訳				
			正職員	(人)	会計年度任用職員	(人)		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
令和2年度	決算額	113	15,700	2.00	0	0.00	15,813	0	0	0	0	15,813
令和3年度	決算見込額	113	15,700	2.00	0	0.00	15,813	0	0	0	0	15,813
令和4年度	当初予算額	113	25,645	2.90	0	0.00	25,758	0	0	0	0	25,758
	補正後予算額	5,594	25,645	2.90	0	0.00	31,239	5,480	0	0	0	25,759
	決算額	4,715	25,645	2.90	0	0.00	30,360	4,601	0	0	0	25,759

3. 指標及び実績値 (Plan&Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度	
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
活動 指標	オンライン申請が可能な手続きの数	個		目標値	100	200	300	500	
				実績値	42	67			
活動 指標	R P Aシナリオ数	個		目標値	10	30	50	70	
				実績値	4	6			
成果 指標	オンライン申請が可能な手続きの平均オンライン申請率	%		目標値	5	10	15	25	
				実績値		30.4			
指標				目標値					
				実績値					
					目標値				
					実績値				
					目標値				
					実績値				
					目標値				
					実績値				

4. 事業に対する評価 (Check)

評価目標	評価値	備考 (評価結果へのコメント等)
活動に対する評価	ほぼ順調	オンライン申請については、現状のシステムや運用に課題があり、次年度に新しくスマート申請システムを導入することとしたため、大きな効果が見込めるものによりオンライン化を進めました。
成果に対する評価	順調	オンライン申請率は比較的高く、今後も手続きの周知や利便性の向上などを図ることで、申請率の向上を目指します。
総合的な評価	ほぼ順調	令和4年度はこの他にもキャッシュレス決済の導入やローコードツールの検証などを行いました。デジタル化の推進や事務の効率化に向けて取組みを進めていきます。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	引き続き、デジタルツールなどを活用した市民サービスの向上や業務効率化の調査・研究に努め、効果的・効率的な行政運営を推進していきます。

令和4年度 課の目標管理書

課 名：企画総務部 秘書広報課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

- 行政情報の発信…広報あびこやホームページ、メール配信・SNS、報道機関への情報提供、記者会見に加え、新たにLINEを活用したユーザーの属性に応じた情報発信や広報動画制作を行い、情報発信力を強化する。
- 市民ニーズの把握と反映…市政の手紙やメール、市政ふれあい懇談会等の広聴活動の充実を図るとともに、eモニター登録数を増やす工夫を行う。また、パブリックコメントを引き続き推進し、施策策定過程における市民の意見反映を進める。
- シティプロモーションの推進…テレビやラジオ、PR情報誌などを通じて市の魅力を積極的に発信し、移住の促進、交流人口の増加を目指す。
- 総合教育会議の運営…地域の教育の課題やあるべき姿を共有し、より一層民意を反映した教育行政を推進するため、教育委員会と連携し、総合教育会議を運営する。また、令和4年度末に計画期間が満了する「我孫子市教育大綱」の見直しを行う。
- 男女共同参画プランの推進…平成31年度（2019）から令和10年度（2028）までを計画期間とする第三次男女共同参画プランに基づき施策を推進するほか、講演会や情報誌、広報、SNSなどを通じて、市民・事業者への啓発を行う。

2. 課の目標への取組結果

概ね予定通り執行することができました。特に、行政情報の発信では、新たに公式LINEを開設することで、市民が市政情報を収集する手段を増やすことができました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の結果を踏まえた評価）

課長	部長
公式LINEの開設など、市の情報を多様な手段で発信できるようになり、市民にとっても利便性向上が図られました。また、シティプロモーションでは、人口の社会増など、効果が着実に数字に表れてきています。	各事業とも概ね予定通り執行できており、今後も現状通り推進していきます。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

各事業とも概ね順調に推進しており、今後も現状通り取り組んでいきます。このうち、男女共同参画事業において、国でLGBT理解増進法の議論が進み、全国ではパートナーシップ制度やファミリーシップ制度を導入する自治体が増えていることから、本市においても事例収集や制度導入の検討を始める必要があります。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	総合教育会議運営事務		
	担当部署名	企画総務部 秘書広報課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	3-3 魅力ある学校づくり		
	施策の展開内容	子どもたちの個性や人権を尊重しながら、個々の能力を伸ばすとともに、生きる力の育成を基盤に、確かな学力の定着と体力の向上に取り組み、魅力ある学校づくりを進めます。		
事務事業の目的・概要	教育に関する予算の編成や執行、条例提案などの重要な権限を有する市長と教育委員会が地域の教育の課題やあるべき姿を共有し、地域に根差した学校教育環境の充実に努めます。			
関連する市の計画等	地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条～第1条の4、我孫子市総合教育会議に関する規定、我孫子市教育大綱（平成31年度～令和4年度）			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	総合教育会議の運営			
	我孫子市教育大綱の見直し			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費と財源内訳（Plan&Do）

（千円）

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)				総事業費 (a+b)	財源内訳				
			正職員	(人工)	会計年度任用職員	(人工)		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
令和2年度	決算額	0	1,740	0.20	0	0.00	1,740	0	0	0	0	1,740
令和3年度	決算見込額	0	890	0.10	0	0.00	890	0	0	0	0	890
令和4年度	当初予算額	0	2,290	0.20	0.00	0.00	2,290	0	0	0	0	2,290
	補正後予算額	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	決算額	0	2,290	0.20	0	0.00	2,290	0	0	0	0	2,290

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度	
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
活動 指標	総合教育会議の開催回数	回		3	3	3	3	3	
				2	3				
成果 指標	法第1条の4に掲げる協議事項、協議・調整事項の合意率	%		100	100	100	100	100	
				100	100				
指標				目標値					
				実績値					
					目標値				
					実績値				
					目標値				
					実績値				
					目標値				
					実績値				

4. 事業に対する評価（Check）

評価目標	評価値	備考（評価結果へのコメント等）
活動に対する評価	順調	会議を3回開催し、小中一貫教育や教育大綱の見直しに向けた意見交換等を行った。
成果に対する評価	順調	教育大綱について、オンライン教育の普及など状況の変化を盛り込みんだ内容に更新し、計画期間を令和5年度から4年間とする新しい教育大綱を策定した。
総合的な評価	順調	総合教育会議において、市長と教育委員とが様々な意見交換を行うことで、課題やあるべき姿を共有することができた。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	我孫子市教育大綱に基づいて教育行政を推進するためには、市長と教育委員会との連携強化や情報共有が必要不可欠であり、その役割を担う総合教育会議を引き続き推進していく。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	男女共同参画プランの推進
	担当部署名	企画総務部 秘書広報課
基本計画における 位置づけ	基本施策名	8-1 男女共同参画の推進
	施策の展開内容	性別にとらわれず、あらゆる場面で一人ひとりの個性や能力を充分発揮し、活躍できる環境づくりに取り組みます。 また、男女平等に関する国際的な評価や潮流、国の新たな法律の整備を踏まえ、男女共同参画社会の実現に向けて取り組みます。
事務事業の目的・概要	<ul style="list-style-type: none"> 性別役割分担意識やアンコンシャス・バイアスを払拭するための情報発信を強化します。 性別に関わらず、家事や育児、地域活動に主体的に参画できるよう、社会全体の意識の醸成を図ります。 性別に関わらず、被害が潜在化しやすいDVや性被害をはじめ、あらゆる暴力やハラスメントのない社会を目指し、その啓発に取り組みます。 	
関連する市の計画等	我孫子市第3次男女共同参画プラン	
当該年度 実施事業 (Plan) 指: 指定事務事業	男女共同参画プラン進行管理業務	
	男女共同参画啓発事業の実施	
継続費設定事業		
債務負担行為設定事業		

2. 事業費と財源内訳 (Plan & Do)

(千円)

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)			総事業費 (a+b)	財源内訳					
			正職員 (人)	合計年度任用職員 (人)	人件費 (人)		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	
令和2年度	決算額	303	4,785	0.55	2,459	1.00	7,547	0	0	0	0	7,547
令和3年度	決算見込額	716	3,560	0.40	2,644	1.00	6,920	0	0	0	0	6,920
令和4年度	当初予算額	665	5,578	0.55	2,716	0.80	8,959	0	0	0	0	8,959
	補正後予算額	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	決算額	660	5,578	0.55	2,716	0.80	8,954	0	0	0	0	8,954

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
活動 指標	我孫子市第三次男女共同参画プラン 計上事業数	件		77	77	77	77	77
				77	77			
活動 指標	男女共同参画情報誌の発行部数	部		2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
				2,000	2,000			
成果 指標	我孫子市第三次男女共同参画プラン 計上事業の実施率	%		100	100	100	100	100
				100	100			
指標				目標値				
				実績値				
				目標値				
				実績値				

4. 事業に対する評価 (Check)

評価目標	評価値	備考 (評価結果へのコメント等)
活動に対する評価	順調	オンライン連続講座の開催、情報誌の発行、及びご女性会議との講演会の共催などを通して、男女共同参画社会について、広く啓発することができた。
成果に対する評価	順調	男女共同参画プランに計上している77事業を着実に実施し、男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを推進することができた。
総合的な評価	順調	男女共同参画審議委員から77事業の実施状況などに対する意見・評価をいただくことで、男女共同参画プランの進捗や課題を洗い出し、取り組みに生かすことができた。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	男女共同参画社会の実現に向けて、今後も本事業を現状通り推進する。また、令和5年度はプラン中間年にあたることから、見直しの必要性を含めて検討していく。さらに、国ではLGBT理解増進法の議論が進んでいるほか、パートナーシップ制度、ファミリーシップ制度を導入する自治体が増えていることから、情報収集に努めていく。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	行政情報の発信	
	担当部署名	企画総務部 秘書広報課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	市民とともにつくる協働によるまちづくり	
	施策の展開内容	市民・事業者・行政がそれぞれの役割と責任を分担しながら、協働によるまちづくりを進めます。	
事務事業の目的・概要	<ul style="list-style-type: none"> 市民と市が情報を共有できるよう、広報あびこや市ホームページなどの充実を図ります。 市政や市民の暮らしに関する情報を正確にわかりやすく伝えるため、新聞、テレビ、ラジオ、インターネットなどのさまざまな媒体を積極的に活用し、情報を提供します。 		
関連する市の計画等			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	指	広報動画制作	
		ホームページの管理・充実	
		LINEによる情報発信	
		広報の編集・発行	
		報道機関への情報提供	
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業	広報あびこ等作成業務委託 R2～R4年度 109,620千円		

2. 事業費と財源内訳（Plan&Do）

（千円）

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)				総事業費 (a+b)	財源内訳				
			正職員	(人工)	※前年度任用職員	(人工)		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
令和2年度	決算額	41,685	21,750	2.50	4,550	2.00	67,985	1,650	0	0	3,040	63,295
令和3年度	決算見込額	42,010	29,815	3.35	2,989	2.00	74,814	0	0	0	3,880	70,934
令和4年度	当初予算額	45,763	29,783	3.45	2,664	0.80	78,210	3,388	0	0	2,880	71,942
	補正後予算額	43,031	29,783	3.45	2,664	0.80	75,478	3,014	0	0	3,200	69,264
	決算額	42,622	29,783	3.45	2,664	0.80	75,069	3,014	0	0	3,580	68,475

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
活動 指標	「広報あびこ」年間発行件数	件		24	24	24	24	24
				24	24			
活動 指標	報道機関への情報提供件数	件		85	85	85	85	85
				172	179			
活動 指標	LINE友だち数	件		目標値 事業未実施	10,000	23,000	36,000	50,000
				実績値 事業未実施	9,258			
成果 指標	トップページアクセス件数 <small>※実績値は新型コロナウイルスの影響を受けたもの</small>	件		目標値 設定なし	1,024,000	1,059,000	1,094,000	1,128,000
				実績値	3,767,722	3,113,484		
				目標値				
				実績値				
				目標値				
				実績値				
				目標値				
				実績値				

4. 事業に対する評価（Check）

評価目標	評価値	備考（評価結果へのコメント等）
活動に対する評価	順調	広報紙では文章表現を工夫し、ホームページでは見やすさとアクセシビリティに配慮することで、幅広い世代が理解しやすい情報発信をできるよう工夫した。
成果に対する評価	順調	新聞折込や宅配、公共施設への配架、スマートフォンアプリ「マチイロ」への掲載、広報動画の制作・放映、公式LINEなど多様な手法を活用して広報紙に触れる機会を増やしたことにより、幅広い世代に市の情報を発信することができた。
総合的な評価	順調	新たに公式LINEを開設したことで、市民が必要な情報を収集しやすくなった。また、広報紙、ホームページ、SNSを活用することで、市の情報を迅速かつ確実に発信することができた。さらに、報道機関に情報提供することにより、市の施策や魅力を広く伝えることができた。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	多様化する市民のニーズに対応し、市政や市民の暮らし等に関する情報提供が必要であるため、今後も現状通り推進する。なお、情報機関への情報提供は、情報の速報性や市民への浸透性に優れているうえに、経費がかからないため、今後も継続し、市の施策や魅力を積極的にPRしていく。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	市民ニーズの把握と反映	
	担当部署名	企画総務部 秘書広報課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	市民とともにつくる協働によるまちづくり	
	施策の展開内容	市民・事業者・行政がそれぞれの役割と責任を分担しながら、協働によるまちづくりを進めます。	
事務事業の目的・概要	・多様化する市民ニーズを的確に把握して市政に反映できるよう、市政への手紙・メール、市政ふれあい懇談会、パブリックコメント、アンケートの実施など、広く市民の意見や要望を聴く機会の充実を図ります。 ・会議の開催の工夫や公募市民の登用拡大などにより、政策形成過程全般への市民参加を進めます。		
関連する市の計画等			
当該年度 実施事業 (Plan) 指：指定事務事業	パブリックコメント		
	eモニター制度		
	市政ふれあい懇談会		
	市政への手紙・メール		
	庁内調整を要する要望・陳情		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費と財源内訳 (Plan&Do)

(千円)

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)				総事業費 (a+b)	財源内訳				
			正職員	(人)	会計年度任用職員	(人)		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
令和2年度	決算額	128	19,140	2.20	0	0.00	19,268	0	0	0	0	19,268
令和3年度	決算見込額	870	16,020	1.80	0	0.00	16,890	0	0	0	0	16,890
令和4年度	当初予算額	244	18,515	1.90	1,798	0.70	20,557	0	0	0	0	20,557
	補正後予算額	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	決算額	135	18,515	1.90	1,798	0.70	20,448	0	0	0	0	20,448

3. 指標及び実績値 (Plan&Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度	
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
指標	活動 指標	パブリックコメント手続き (意見公募1件当たりの提出意見数)	件	目標値	10	10	10	10	
				実績値	4	2			
	活動 指標	eモニター制度 (モニター登録者数)	人	目標値	300	400	400	400	
				実績値	368	398			
	活動 指標	市政ふれあい懇談会 (参加人数)	人	目標値	350	200	200	200	
				実績値	172	162			
	活動 指標	市政への手紙・メール (受付件数)	件	目標値	350	500	500	500	
				実績値	461	325			
	活動 指標	庁内調整を要する要望・陳情	件	目標値	55	70	70	70	
				実績値	46	46			
					目標値				
					実績値				
				目標値					
				実績値					

4. 事業に対する評価 (Check)

評価目標	評価値	備考 (評価結果へのコメント等)
活動に対する評価	順調	eモニターは、登録者が増加し広く市民の意見を聴くことができた。市政ふれあい懇談会は、新型コロナの影響で秋のみ開催した令和3年度よりも参加人数が減ったことから、開催周知の工夫が必要である。
成果に対する評価	順調	市政への手紙・メールの受付件数の減少は、令和3年度に多かった東京オリンピック関連の手紙・メールがなかったことのほか、受け付けた手紙・メールの内容に関する日頃の対応の成果が表れていると考える。
総合的な評価	順調	eモニターや市政への手紙・メールなど複数の手法を活用し、市民の多様な意見を聴くことができています。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	複数の手法を活用して、市民の多様な意見を聴くことができていることから、今後も現状通り推進する。 一方で、複数の手法の活用により広聴事務が煩雑になっているため、手続き方法の簡素化など、事務内容の見直しに取り組んでいく。 eモニターについては、令和5年度から、アンケートへの回答特典をクオカードから「あびこん商品券」に変更し、市内消費に結びつこう工夫する。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	シティプロモーションの推進		
	担当部署名	企画総務部 秘書広報課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	戦略的なシティプロモーション		
	施策の展開内容	市の魅力を伝える情報発信を戦略的に行うことで、市民の定住と市外の方の移住促進を図ります。		
事務事業の目的・概要		<ul style="list-style-type: none"> ・市の知名度向上とイメージアップ、市民の郷土愛を醸成するため、都心への交通利便性や子育てのしやすさ、手賀沼に代表される豊かな自然、白樺派の文人たちが集った地ならではの歴史文化資源など、さまざまな魅力の発信を戦略的に進めます。 ・子育て世代や若者が「住みたい」「住み続けたい」、親世代が「住むことをすすめたい」と思えるよう、情報の受け取り方や興味、関心に合わせ、あらゆる媒体を活用して市の魅力を効果的に発信していきます。 ・市民、団体、大学、事業者などと連携して市の魅力の創出・発信に取り組みます。 		
関連する市の計画等				
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	指	ラジオ番組用CM制作		
	指	移住PR冊子の作成		
		シティプロモーションの推進		
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費と財源内訳（Plan&Do）

（千円）

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)				総事業費 (a+b)	財源内訳				
			正職員	(人工)	会計年度任用職員	(人工)		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
令和2年度	決算額	12,653	11,745	1.35	0	0.00	24,398	0	0	0	0	24,398
令和3年度	決算見込額	6,970	15,575	1.75	0	0.00	22,545	0	0	0	0	22,545
令和4年度	当初予算額	9,951	21,230	2.20	0	0.00	31,181	0	0	0	0	31,181
	補正後予算額	11,095	21,230	2.20	0	0.00	32,325	-	-	-	-	32,325
	決算額	11,070	21,230	2.20	0	0.00	32,300	1,144	0	0	0	31,156

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度	
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
活動 指標	シティプロモーション事業の取組 件数	件		目標値	-	155	155	160	160
				実績値	232	556			
指標				目標値					
				実績値					
				目標値					
				実績値					
				目標値					
				実績値					
				目標値					
				実績値					

4. 事業に対する評価（Check）

評価目標	評価値	備考（評価結果へのコメント等）
活動に対する評価	順調	ラジオ番組内でのCM放送、都内オフィス向けフリーペーパーへの広告掲載、移住PR紙制作・配布のほか、ニュースサイトへの投稿、マンションディベロッパーとの連携、駅でのパネル掲示、大学への情報コーナー設置など、様々な媒体を活用し、積極的に市の魅力をPRすることができた。
成果に対する評価	順調	市の魅力を積極的にPRすることで、我孫子市の情報がメディアに取り上げられる機会が増加しており、取り組みの成果が表れていると考える。
総合的な評価	順調	民間調査の街ランキングへの掲載、地価上昇率県内3位、7年連続の社会増（転入超過）などシティプロモーションの効果測定に活用できる数字に、取り組みの成果が表れており、本事業が我孫子市への移住促進につながっているものとする。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	様々な媒体を活用して市の魅力PRに取り組んできた結果、7年連続の社会増などシティプロモーションの効果が表れていることから、今後も現状通り推進する。

令和4年度
課の目標管理書

課名：企画総務部 人事課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

人事評価制度を中心とする人事管理、研修及び職場環境の整備を柱に、総合的かつ効果的に人材育成を進めます。また、公務能率の向上、職員の健康増進及びワーク・ライフ・バランスの実現のため、時間外勤務の削減をはじめとした労働時間の短縮を推進します。

働き方改革や新たな生活様式に対応するため多様な勤務体制を検討し、在宅勤務などテレワークの継続・定着を図ります。

2. 課の目標への取組結果

課の目標で示したとおり、全取組を実施しました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の結果を踏まえた評価）

課長	部長
人事評価制度の活用を行うとともに、研修計画に沿った階層別の研修をはじめ各種研修の実施や千葉県などへの研修派遣により、効果的な人材育成に努めました。 また、ノー残業デーを実施し、時間外勤務の削減に努め、やむを得ず長時間労働を行った職員に対しては、産業医による面接指導を実施し、職員の健康維持に努めました。	社会情勢等の変化により複雑高度化する行政需要に対応可能な人材を育成するため、研修計画の見直しに向けた検討を進める必要があります。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

引き続き公務能率の向上、職員の健康増進及びワーク・ライフ・バランスの実現のため、時間外勤務の削減をはじめとした労働時間の短縮を推進するとともに、研修計画の見直しに向けた検討を進め、複雑高度化する行政需要に対応可能な人材を育成していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	人材育成の推進
	担当部署名	企画総務部 人事課
基本計画における 位置づけ	基本施策名	効率的・効果的な行政運営の推進
	施策の展開内容	多様化する市民ニーズや社会情勢の変化を的確に捉え、財源の確保と効率的かつ効果的な事業の実施に努め、持続可能な行政運営を進めます。
事務事業の目的・概要	複雑高度化する行政需要に対応していくため、多様で質の高い人材を確保するとともに、職員研修や人事評価制度などにより、人材育成に努めています。	
関連する市の計画等		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	職員研修	
	管理職登用試験制度の実施	
	人事評価の実施	
継続費設定事業		
債務負担行為設定事業		

2. 事業費と財源内訳（Plan&Do）

（千円）

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)				総事業費 (a+b)	財源内訳				
			正職員	(人)	会計年度任用職員	(人)		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
令和2年度	決算額	1,693	5,394	0.62	0	0.00	7,087	0	0	0	0	7,087
令和3年度	決算見込額	2,507	12,816	1.44	0	0.00	15,323	0	0	0	0	15,323
令和4年度	当初予算額	4,624	12,135	1.50	0	0.00	16,759	0	0	0	0	16,759
	補正後予算額	3,428	12,135	1.50	0	0.00	15,563	0	0	0	0	15,563
	決算額	3,231	12,135	1.50	0	0.00	15,366	0	0	0	0	15,366

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
成果 指標	職員研修の年間延べ受講者数	人		1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
				1,596	2,468			
活動 指標	人事評価における苦情相談窓口への相談件数	件		0	0	0	0	0
				0	1			
活動 指標	管理職登用試験受験者数	人		30	30	30	30	30
				23	18			
指標				目標値				
				実績値				
				目標値				
				実績値				
				目標値				
				実績値				
				目標値				
				実績値				

4. 事業に対する評価（Check）

評価目標	評価値	備考（評価結果へのコメント等）
活動に対する評価	ほぼ順調	管理職登用試験の令和4年度の受験者数は前年度に比べ減少したものの、直近2年間の平均で20人を超えていることから、ほぼ順調と判断した。
成果に対する評価	順調	新型コロナウイルス感染症の影響により一部の職員研修が実施できなかったが、それ以外の職員研修は研修計画のとおり実施することができたため、順調と判断した。
総合的な評価	ほぼ順調	職員研修は概ね研修計画のとおり実施し、その受講者数が前年度に比べ大幅に増加したものの、管理職登用試験の受験者数が前年度に比べ減少したことを踏まえ、ほぼ順調と判断した。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	社会情勢等の変化により複雑高度化する行政需要に対応可能な人材を育成するため、研修計画の見直しに向けた検討を進める。

令和4年度 課の目標管理書

課名：企画総務部 行政管理課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

- 事務処理誤りの発生を防止するため、対応方針を定め、個別事例における防止策を検討・実施し、リスクマネジメントを推進します。
- 第四次総合計画を着実に推進するための組織体制を整備するとともに、社会情勢等の変化に柔軟に対応した組織を構築していきます。
- 情報資産の保全対策として対策基準どおりの運用徹底と実施状況の監査を行います。
- 社会保障・税番号制度に関する業務について総括し庁内の調整を図ると共に、業務主管課へのサポートや情報連携に関する委託業者との調整を行います。
- 行政運営の基本情報となるデータ集計を行うため、基幹統計調査を適確に実施します。
- 情報公開の徹底を図り、市民との情報の共有化を進めるとともに、個人情報の適切な保護に努めます。その方策として、ファイリングシステムによる文書管理を徹底します。
- 「個人情報の保護に関する法律」への一元化に伴い、法施行条例を制定し、市民、庁内に周知します。
- 請負金額が130万円を超える工事に対して、施工・出来高・中間検査を実施するとともに、工事成績評定を実施し、工事請負者の施工技術の水準の向上を図ります。

2. 課の目標への取組結果

課の目標で示したとおり、全取組を実施しました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の結果を踏まえた評価）

課長	部長
組織改編の実施や、個人情報の保護に関する法律への一元化に伴う条例の制定など、順調に事業を執行しました。引き続き、現状通り推進します。	効率的・効果的な行政運営や、市民との情報の共有化を図っていくため、引き続き、的確に事業を執行していく必要があります。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

機能的な組織運営事業では、社会情勢等の変化に柔軟に対応していく必要があることから、適宜組織体制の見直しを進めます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	情報公開の推進
	担当部署名	企画総務部 行政管理課
基本計画における 位置づけ	基本施策名	市民とともにつくる協働によるまちづくり
	施策の展開内容	市民・事業者・行政がそれぞれの役割と責任を分担しながら、協働によるまちづくりを進めます。
事務事業の目的・概要	市民の知る権利を確保し、市民と市との情報の共有化を図るため、市民が必要とする市政情報を公開していきます。	
関連する市の計画等		
当該年度 実施事業 (Plan) 指：指定事務事業	行政情報資料室の管理・運営	
	情報公開に係る総合調整事務	
継続費設定事業		
債務負担行為設定事業		

2. 事業費と財源内訳 (Plan & Do)

(千円)

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)				総事業費 (a+b)	財源内訳				
			正職員	(人)	会計年度任用職員	(人)		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
令和2年度	決算額	784	11,136	1.28	1,857	0.73	13,777	0	0	0	0	13,777
令和3年度	決算見込額	798	11,392	1.28	1,749	0.74	13,939	0	0	0	0	13,939
令和4年度	当初予算額	339	12,627	1.88	18	0.01	12,984	0	0	0	110	12,874
	補正後予算額	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	決算額	292	12,627	1.88	18	0.01	12,937	0	0	0	104	12,833

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
活動 指標	審査請求に対する認容裁決の件数	件	目標値	0	0	0	0	0
			実績値	0	0			
成果 指標	審査請求に対する認容裁決の件数	件	目標値	0	0	0	0	0
			実績値	0	0			
指標			目標値					
			実績値					
				目標値				
				実績値				
				目標値				
				実績値				
				目標値				
				実績値				

4. 事業に対する評価 (Check)

評価目標	評価値	備考 (評価結果へのコメント等)
活動に対する評価	順調	予定のとおり実施しました。
成果に対する評価	順調	予定のとおり実施しました。
総合的な評価	順調	予定のとおり実施しました。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	情報公開制度による市政情報の市民への提供は、市民と市が協働でまちづくりを進める上で不可欠であるため、今後も引き続き推進していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	統計データ整備	
	担当部署名	企画総務部 行政管理課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	市民とともにつくる協働によるまちづくり	
	施策の展開内容	市民・事業者・行政がそれぞれの役割と責任を分担しながら、協働によるまちづくりを進めます。	
事務事業の目的・概要	まちづくりの基礎資料となる我孫子市の人口・産業・教育・文化などの統計データについて市民との共有化を図るため、国勢調査などの統計調査を実施するとともに、統計書を作成します。		
関連する市の計画等			
当該年度 実施事業 (Plan) 指：指定事務事業	統計書作成		
	基幹統計調査		
	千葉県毎月常住人口調査・年齢別・町丁字別人口調査		
	統計調査員確保対策事業		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費と財源内訳 (Plan&Do)

(千円)

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)				総事業費 (a+b)	財源内訳				
			正職員	(人)	会計年度任用職員	(人)		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
令和2年度	決算額	55,746	49,227	1.43	6,538	5.00	111,511	0	55,609	0	0	55,902
令和3年度	決算見込額	2,726	2,465	1.43	588	0.32	5,779	0	2,586	0	0	3,193
令和4年度	当初予算額	2,089	12,414	1.43	232	0.32	14,735	0	1,936	0	0	12,799
	補正後予算額	2,036	12,414	1.43	232	0.32	14,682	0	1,912	0	0	12,770
	決算額	1,914	12,414	1.43	232	0.32	14,560	0	1,840	0	0	12,720

3. 指標及び実績値 (Plan&Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
活動 指標	統計調査員確保対策事業	名	目標値	150	130	130	130	130
			実績値	147	98			
成果 指標	統計書作成	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100			
成果 指標	基幹統計調査	調査	目標値	4	3	3	3	3
			実績値	3	3			
成果 指標	千葉県毎月常住人口調査・年齢別・町丁字別人口調査	回	目標値	12	12	12	12	12
			実績値	12	12			
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

4. 事業に対する評価 (Check)

評価目標	評価値	備考 (評価結果へのコメント等)
活動に対する評価	順調	予定のとおり実施した。引き続き統計調査員の確保に努める。
成果に対する評価	順調	予定のとおり実施した。
総合的な評価	順調	予定のとおり実施した

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	法定受託業務のため現状とおり推進していく。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	機能的な組織運営		
	担当部署名	企画総務部 行政管理課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	効率的・効果的な行財政運営の推進		
	施策の展開内容	多様化する市民ニーズや社会情勢の変化を的確に捉え、財源の確保と効率的かつ効果的な事業の実施に努め、持続可能な行財政運営を進めます。		
事務事業の目的・概要	・社会情勢や行政課題に的確に対応できるよう、柔軟で機能的な組織運営を進めます。			
関連する市の計画等	定員管理適正化計画			
当該年度 実施事業 (Plan) 指：指定事務事業	指 組織の見直し			
	定員管理事務			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費と財源内訳 (Plan & Do)

(千円)

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)				総事業費 (a+b)	財源内訳				
			正職員	(人工)	会計年度任用職員	(人工)		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
令和2年度	決算額	0	2,262	0.26	0	0.00	2,262	0	0	0	0	2,262
令和3年度	決算見込額	0	5,785	0.65	380	0.20	6,165	0	0	0	0	6,165
令和4年度	当初予算額	0	6,870	0.60	1,019	0.40	7,889	0	0	0	0	7,889
	補正後予算額	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	決算額	0	6,870	0.60	1,019	0.40	7,889	0	0	0	0	7,889

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
活動 指標	常勤職員数	人		857	857	868	868	868
				859	862			
成果 指標	常勤職員数	人		857	857	868	868	868
				859	862			
指標				目標値				
				実績値				
				目標値				
				実績値				
				目標値				
				実績値				
				目標値				
				実績値				

4. 事業に対する評価 (Check)

評価目標	評価値	備考 (評価結果へのコメント等)
活動に対する評価	順調	予定のとおり実施した。
成果に対する評価	順調	予定のとおり実施した。
総合的な評価	順調	予定のとおり実施した。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	社会情勢等の変化に柔軟に対応するためには、的確な執行体制を確保することが必要である。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	リスクマネジメントの推進
	担当部署名	企画総務部 行政管理課
基本計画における 位置づけ	基本施策名	効率的・効果的な行財政運営の推進
	施策の展開内容	多様化する市民ニーズや社会情勢の変化を的確に捉え、財源の確保と効率的かつ効果的な事業の実施に努め、持続可能な行財政運営を進めます。
事務事業の目的・概要	・市民の利益を損なうことのないよう、業務上のリスクを識別・評価し対応策を講じるリスクマネジメントを推進します。	
関連する市の計画等		
当該年度 実施事業 (Plan) 指：指定事務事業	リスクマネジメントの推進	
継続費設定事業		
債務負担行為設定事業		

2. 事業費と財源内訳 (Plan & Do)

(千円)

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)				総事業費 (a+b)	財源内訳				
			正職員	(人)	会計年度任用職員	(人)		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
令和2年度	決算額	0	2,610	0.30	0	0.00	2,610	0	0	0	0	2,610
令和3年度	決算見込額	15	3,560	0.40	761	0.40	4,336	0	0	0	0	4,336
令和4年度	当初予算額	175	5,725	0.50	1,019	0.40	6,919	0	0	0	0	6,919
	補正後予算額	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	決算額	169	5,725	0.50	1,019	0.40	6,913	0	0	0	0	6,913

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
活動 指標	リスク評価を実施した全庁共通の業務数	件	目標値	3	5	10	12	20
			実績値	1	1			
成果 指標	リスク評価を実施した全庁共通の業務数	件	目標値	3	5	10	12	20
			実績値	1	1			
指標			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

4. 事業に対する評価 (Check)

評価目標	評価値	備考 (評価結果へのコメント等)
活動に対する評価	ほぼ順調	リスク評価の手法について検討を重ねている。
成果に対する評価	ほぼ順調	リスク評価の手法について検討を重ねている。
総合的な評価	ほぼ順調	リスク評価の手法について検討を重ねている。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	事務処理誤りを防止するためには、市の担当課だけではなく組織的な対応が必要となるため、現状どおり推進していく。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	電子行政の維持・運営	
	担当部署名	企画総務部 行政管理課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	効率的・効果的な行財政運営の推進	
	施策の展開内容	多様化する市民ニーズや社会情勢の変化を的確に捉え、財源の確保と効率的かつ効果的な事業の実施に努め、持続可能な行財政運営を進めます。	
事務事業の目的・概要	・革新的な技術を活用した取組について調査・研究を進め、市民サービスの充実や業務の効率化、情報セキュリティの強化を図ります。		
関連する市の計画等	我孫子市情報セキュリティポリシー		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	指	マイナポータル用端末の調達	指 アンケート分析システムの導入
		庁内インフラの運用・セキュリティ対策の実施	
		社会保障・税番号制度の運用	
		電算システムの運用	
	指	RPA・AI-OCR導入	
		電算室空調機ダクト設置工事	
		地方税共通納税システム対象税目拡大及び納付書QRコード対応	
	指	軽自動車税関係手続電子化対応	
指	BPRの実施		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業	庁内インフラ・セキュリティ業務委託 R3～R13年度 1,808,962千円、第2期基幹システム運用委託 R3～R8年度 1,600,000千円、ちば電子申請システムサービス利用 R3～R7年度 1,955千円、ちば施設予約システムサービス利用 R3～R7年度 17,695千円、グループウェアシステム使用 R4～R8年度 14,987千円、アンケート分析システム使用 R5～R8年度 17,468千円		

2. 事業費と財源内訳（Plan&Do）

（千円）

年度	区分	事業費 (a)	人件費 (b)				総事業費 (a+b)	財源内訳				
			正職員	(人)	会計年度任用職員	(人)		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
令和2年度	決算額	0	2,610	0.30	0	0.00	2,610	0	0	0	0	2,610
令和3年度	決算見込額	15	3,560	0.40	761	0.40	4,336	0	0	0	0	4,336
令和4年度	当初予算額	473,493	34,345	4.10	7,844	1.80	515,682	30,480	0	0	766	484,436
	補正後予算額	465,367	34,345	4.10	7,844	1.80	507,556	24,325	0	0	775	482,456
	決算額	462,475	31,205	3.70	7,844	1.80	501,524	24,325	0	0	775	476,424

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
活動 指標	基幹システムの重大障害発生件数	件	目標値	0	0	0	0	0
				実績値	0	1		
活動 指標	セキュリティ対策の実施数	件	目標値	11	11	11	11	11
				実績値	11	11		
指標			目標値					
				実績値				
				目標値				
					実績値			
				目標値				
					実績値			
				目標値				
					実績値			

4. 事業に対する評価（Check）

評価目標	評価値	備考（評価結果へのコメント等）
活動に対する評価	順調	事業の進捗に遅延はなく、順調に進めることができた。
成果に対する評価	順調	事業の進捗に遅延はなく、順調に進めることができた。
総合的な評価	ほぼ順調	作業の効率化・自動化を実現できるシステムにおいて、処理時間の短縮や作業の効率化に想定していた効果が得られなかった業務もあったが、ほぼ順調に進めることができた。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	システムの新規導入に十分な効果を得るためには、業務の現状と課題を把握し、最適化に向けて導入する範囲を精査することが重要であることから、今後はさらに検討を重ねたうえで導入を判断していく。システムの停止は行政機能や住民サービスの提供に多大な影響を与えることから、今後も安定稼働に向け引き続き事業を推進していく。